

【 12 月の行事 】	
調整中	クリスマス会(子ども会) ※今回はコロナ禍のため、違った形での開催となります。
【その他の行事】	
【 1 月の行事 】	
調整中	新年会
【その他の行事】	
【 2 月の行事 】	
調整中	
【その他の行事】	

新型コロナウイルス感染症の状況により、左記の行事予定は変更が生じます。ミニデイは当面中止

きび畑ことり行き交う日暮れ時
(湧田清子作)
今回、湧田団からいただきました。宇堅の風情を詠った内容。可愛いメジロがいますね。

外出
早くも師走。時が経つのが早いですね。飲食店での感染は、うるま市ではまだ発生していませんが、油断禁物です。特に那覇市一带を中心にお仕事している方は感染予防を徹底することが必要です。携帯用の消毒液スプレーがあると小まめに消毒ができます。

自治会・町内会への期待と役割

平成28年度自治会・町内会口座から

江戸川大学教授の大内田鶴子氏の講座からの内容です。

そして、ネイバーフッドの活動は原則ボランティアで、活動内容はネイバーフッドの暮らし良さを強化するための共同会議を中心とした様々なプログラムを実施する。例えば、ゾーニング規制、交通改善、収穫祭などの祭りやブロックパーティー、防犯活動、近隣公園の美化など、日本の町内活動とほとんど同じである。ネイバーフッドアクションの目的は近隣社会の改善のために、市の政策的決定に参加する機会を提供する組織として市によって公式に認められている。市が公認するネイバーフッド団体は市の提示している組織の要件を満たすことが求められる。また、ネイバーフッド・システム(組織全体の仕組みとその組織の関係)の標準を定めてホームページに掲載している。

インボルブメントは住民参加という意味で、約30年前からインボルブメント課を作りネイバーフッド・システムの維持管理とがってに努めている。市役所インボルブメント課としては、市民と市役所の生きたコミュニケーションの媒介になること。2009年以降は市民参加文化の推進を目標として組織化の支援・人材育成・行政事務の助けを行っている。

ネイバーフッド団体と自治会・町内会の共通性は、近隣関係を基礎として日常の身

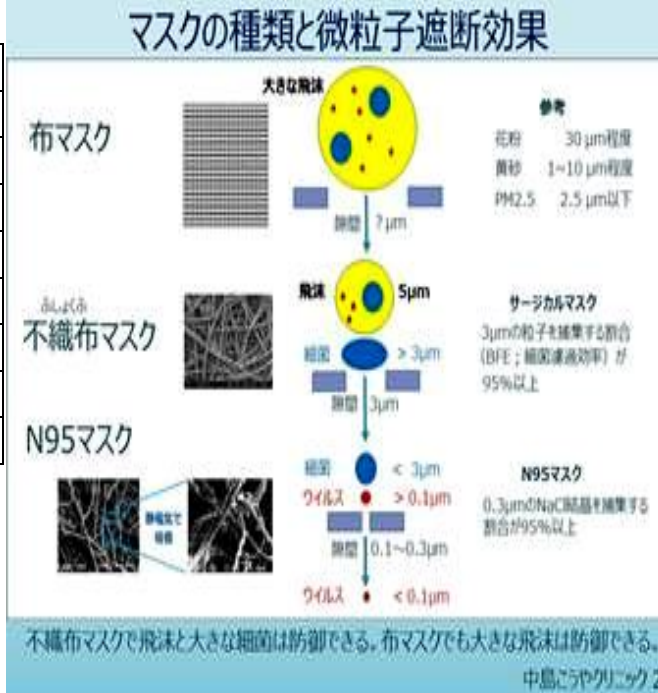
うるま市と県内の新規陽性者等の状況 (11/5現在)

	うるま市		沖縄県	
	新規陽性者	累計(うち入院解除)	新規陽性者	累計(うち入院解除)
12/1	1名	170名(149名)	27名	4353名(3880名)
11/30	0名	169名(147名)	32名	4326名(3854名)
29	2名	169名(147名)	47名	4294名(3814名)
28	3名	167名(146名)	78名	4247名(3783名)
27	0名	164名(146名)	38名	4169名(3739名)
26	4名	164名(144名)	74名	4131名(3712名)
25	0名	161名(144名)	27名	4057名(3686名)

※5.0歳以上陽性者の割合

うるま市=55.3% ⇔ 沖縄県=40.8%

高齢者の割合が高いです。高齢者の日常行動範囲に要注意。



のまわり起こる問題を解決し、生活環境の改善に住民がボランティアで取り組むこと。そして、定められた地理的協会の中で活動し、協会内の居住者は同等の権利を持つ。組織の目的分野が定まらず総合的であり、行政との協力関係を重視し、小さな公共の団体という説明もされている。このように、立派なネイバーフッド・システムがあるポータルランド市だが、欧米の抱える問題が負担となっている。それは、暴力、犯罪、麻薬、銃所持、ホームレス、分離居住と人種の反目などがある。これにより環境が悪化すると中間層が逃げ出してネイバーフッドが衰退する。

欧米諸国の現状と取り組み

欧米の現実を示しながら日本の現状について考え直していきたい。欧米では、建物内への銃の持ち込みを取り締まることができず、図書館などの公共施設入館時に空港の搭乗時検査と同様なものを受ける。個人が武器を所持しないことが当然となっており、日本では、その分コミュニティの安心安全を個人の責任ではなく、地域社会の役割として確保しようとしているのだと思う。

欧米ではホームレスなど漂流する人々の問題を抱えており、NPOが食料や宿泊場所を提供しているが解決には至らない。なぜならば漂流する人々を行政が把握できないからである。20世紀初頭から1980年代くらいまで人々を定住させるといふ思想の基にセトルメント活動が行われてきたと思うが今や間に合わなくなっている。世界には定住できない人が大量に出現している。(続く)

婦人がん健診日程

うるみんでの婦人がん健診日程です。宇堅の指定日は6/23です。それ以外の日も受診可能。

注意: 保険証・受診券・マスクを持参すること
※受付: 午後=1:30

6	23日(火)	12	15日(火) 22日(火)
7	14日(火) 21日(火)	1	26日(火)
8	18日(火) 25日(火)	2	9日(火)
10	20日(火)	「ゆらてく」等会場もあります。日時はお問い合わせください。	

受診には予約が必要。マスクも忘れずに。

健診日程

うるみんでの集団健診日程です。宇堅の指定日は6/16です。それ以外の日も受診できます。

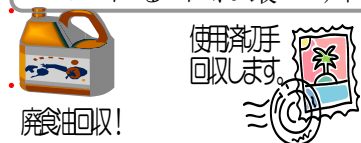
注意: 保険証・受診券・マスクを持参!
※受付: 午前=8:30 / 午後=1:00

6	16日(火) 宇堅 17日(水) 18日(木) 29日(月)	11	24日(火) 25日(水)
7	13日(月) 19日(日)	12	12日(土) 13日(日)
8	22日(土) 23日(日)	1	27日(水) 31日(日)
		2	20日(土)

「区長のドクモネ、と」(編集後記)

第三波(コロナ禍)が襲来です。重傷者でない患者が急激に悪化することもあるようです。また、無症状者もいることから、感染防止もなかなかむづかしい状況がある。家庭内感染が徐々に増えています。職場や仕事に関連した中で知らずに感染という場合があります。三密とマスクと手洗い(特にドアノブなどに気を付けて)を重々、肝に銘じてください。

「マメな豆の話」(吉田よし子著/角川ソフィア文庫)。改めて豆のすごさ(種類、栄養価、窒素固定など)を認識。最近ではフェイクミート(大豆の肉)の売れ行きが伸びているらしい。アタイグラーに植えると、根粒細菌が窒素を固定するので、土壌の栄養分が増えるので、シーズンに応じた豆を植えるのもいいと思います。豆ごはん食いたい(笑)。



救急医療情報キット

高齢者の万一の緊急事態に備えて。迅速な医療処置が行えるようになります。

- ①かかりつけ病院
- ②緊急連絡先
- ③持病・体質等
- ④診察券(北^-)
- ⑤健康保険証(北^-)

「宇堅守の会」メンバー募集中

主な目的は、見守りの必要な方(高齢者世帯など)の把握、減災・防災等の取り組みです。無理しない活動を進めています。壮年層の参加を期待。

お問い合わせ: 公民館まで
午後8時

【定例会】 ◆休会中(偶数月の第2月曜日)

(10月末)	宇堅(外国人除く)	うるま市全体(外国人含む)
人口(男/女)	1,248(643/602) Δ3(Δ1/Δ2)	124,917(62,934/62,201) 106(43/63)
世帯数	487 Δ1	54,326 87

体育授業参観：天願小学校

～2020年11月27日 8:40～12:00～

コロナ禍により、学校現場は大きな影響を受けています。毎日の教室の消毒をはじめ、子どもたちへの感染予防対策など、先生方はさらに忙しく、プレッシャーを受けています。学校行事の中止や延期がります。運動会が開催されない中で、授業参加と抱き合わせたミニ運動会を実施していました。5・6年生のエイサー演武もありました。子どもたちへの思い出づくりに学校のご配慮です。短い時間でしたが、一層懸命の子どもたちの姿に癒されました。みんな、ありがとうございました。



ウヤファーフジの引っ越し 2020.11月22日

金城門中の「中元屋」である金城睦信氏のご先祖の引っ越しを見てきました。新設の墓への骨壺の引っ越しです。10時ころからお坊さんの読経が始まり、古い墓の石蓋を開けて、中に設置されていた骨壺を運び出した。骨壺には番号(ガムテープ)を付し、順番を間違えないようにしていました。重たいのはユニックで釣り上げ、軽トラの荷台に乗せて新しい墓の近くまで、小さいのは子孫の皆様が抱えて運び出しました。

骨壺は様々なデザインがあって、面白い。一つひとつの骨壺の埃や泥をふき取りきれいにした後、新しい墓への引っ越しセレモニーを経て、納められました。睦信さん、お疲れ様でした。



困りごと相談窓口のご案内
(秘密厳守ですので、お気軽にご相談下さい)

【子供の健康や育児、DV関連】

- ・児童家庭課=973-5041/4983
- ・こども健康課=989-0220

【保育、子供の預かりや送迎関連】

- ・保育幼稚園課=973-5427
- ・ファミリーサポートセンター=070-5677-6733

【高齢者関連】

- ・地域包括支援センター=972-3595

【心身の障がい関連】

- ・障がい福祉課=973-5452

【就労・生活支援や生活保護関連】

- ・パーソナルサポートセンター=989-3972
- ・保護課=979-6552

後期高齢者医療の高額医療費 自己負担限度額について

自己負担限度額の認定証が必要です。
相談先:国民健康保険課(後期高齢者医療係)
973-3202 (ファックス=974-6764)

具志川職業能力開発校: 973-6680/5954

【受付期間】

- ・推薦入校選抜:9月上旬
- ・一般入校試験(第1回):10月上旬
- ・一般入校試験(第2回):2月上旬

【訓練科名】

- ・自動車整備科、電気システム科、メディアアート科、情報システム科、造園ガーデニング科、総合実務科、オフィスビジネス科

一般社団法人沖縄産業開発青年協会
4月入学&9月入学

資格取得の訓練を、寄宿舎生活(半年間・3食付)で行います。うるま市では、受講料(65万円)の半額又は全額補助があります。相談は→923-7634

【職業訓練】

- ・大型特殊自動車免許
- ・小型移動式クレーン技能講習
- ・車両系建設機械運転技能講習
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・高所作業車運転技能講習
- ・ローラー特別教育講習
- ・車両系建設機械科
- ・玉掛け科
- ・ガス溶接科
- ・アーク溶接科
- ・刈払機特別教育
- ・伐木特別教育



うるま市就職・生活支援パーソナルサポートセンター

経済的悩み、仕事探しについて、解決のお手伝いをします。

①時間=8:30～17:00(月～金)
②場所=市役所(西棟)
③TEL:989-3972
FAX:989-3971 (事前予約がスムーズです!)

うるま市ひとり親家庭生活支援モデル事業

ひとり親家庭で、子どもの生活環境の改善に向けた支援を必要とし、以下の要件をすべて満たす方

1. 市内に住所(原則3ヶ月以上)・児童扶養手当受給中。
2. 18歳未満の児童を養育していること。
3. 支援期間内の自立に向けた具体的な目標と意欲のある方

優先される方→児童が3人以上、又は1才未満乳児がいる方。
※生活保護法(住宅扶助受給者)や公営住宅入居者は対象外。

SOSネットワーク事業

認知症高齢者の検索のための事業です。登録により、迅速に検索活動ができます。

- ・電話番号 098-973-5112
- ・FAX 098-982-6041

事前登録までの流れ